

# 松川村 議会

郵便局舎とちひろ公園内の公用地一部を譲渡、

収入は公共施設整備基金に

一般会計は、18年度補正後38億2251万円、

19年度補正後42億3752万円を議決

平成19年  
第2回定例会

平成19年松川村議会第2回定例会が招集され、6月12日～22日の11日間の会期で専決8件、報告3件、議案8件を審議しました。

今定例会は、新たな請願・陳情は一件もなく、甲斐澤議長は「私が議員になってから一度もなかった」と言っていました。継続中の陳情は、反対と賛成の討論があり、委員長報告の通り、賛成多数で不採択となりました。（ほか事件内容は別記の通り）

閉会にあたり平林村長は「原案通りの可決に感謝する。今後は計画・予定を一日も早く着手・執行し、努力する。梅雨の時節、健康で活躍されたい」とあいさつしました。

また、会期中、全議員で松川神社の草刈りを行って平和を願い、村消防団のポンプ操法大会にも参列して、村民の生命・財産を守るための厳しい訓練の成果を拝見しました。

## 【専決】

平成18年度一般会計補正予算及び税条例一部改正など8件 〈賛成全員承認〉

## 【条例】

条例改正 〈賛成全員可決〉

○附属機関設置条例の一部改正など2議案

## 【予算】

平成19年度一般会計補正予算など5議案 〈賛成全員可決〉

## 【その他】

普通財産の譲渡 〈賛成全員可決〉

## 【報告】

陳情1件

◎最低保障年金制度の創設を求める陳情書（不採択） 〈賛成多数承認〉

平成18年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書など2件

## 6月定例会提出案件



〈新たな特産品と観光の開発〉  
議会総務産業建設常任委員会主催による初めての経済懇談会  
～すずむし荘にて～

# 委員会報告

## 社会福祉文教常任委員会

## 総務産業建設常任委員会

### 経済懇談会を開催 特産品づくりと 観光の活性化

平成19年7月2日

村経済課・商工会・観光協

会・営農支援

センター・J

A大北松川支

所などの代表

にご出席願

初めての経済

懇談会を開催

しました。

これまで、  
各団体がそれ



観光の拠点・寄って停まつかわ

それに特産品づくりに努力して  
きました。が、国営公園(大町・  
松川地区)が平成21年に開園と  
決まった今、観光や特産品の開  
発・販売が重要課題であり、そ  
の第一歩として懇談会を開催し  
ました。

出席者からは、米・酒・りん  
ご・黒豆・凍りもちなどの特産  
品づくりの現状と販売に対する  
課題や今後の観光のあり方など、  
活発に意見が出されました。

司会の新村委員長は「夢を大  
いに語り、何を目指すのか。今  
後も懇談会を続けたい」と述べ  
て閉会しました。

### 学校給食センターと 改修した 保健センターを視察

平成19年6月13日

学校給食センターは、今年度

から「アレルギー対応食提供」

と「米飯の委託炊飯」を開始し

たので、視察と試食をしました。

アレルギー対応食提供は小学

生12名で、中学生はいません。

細心の注意をし、事業を実施し

ているが、施設は築26年を経過

し、狭く不便であるとのこと

で、職員は16名で1,900

食を提供しており、主食に事故  
のあった場合の対応などの説明

がありました。

保健センターは、包括支援セ  
ンターとして行政を行うため改  
修をしていましたが、5月に完  
了しました。職員は14名、障害  
のある方も地域で安心して暮ら  
せる事な  
どの配慮  
をした改  
修がされ、  
福祉の充  
実の取り  
組む拠点  
として、  
事業を進  
めていま  
す。



保健センターのフロア

## 議会日誌

〔4月〕

3日 松川南北保育園入園式

4日 松川小学校入学式

5日 松川中学校入学式

9日 議会全員協議会

15日 消防団入退団式

21日 松川神社春季大祭

23日 議会全員協議会

〔5月〕

14日 池田松川施設組合議会

23日 大北地区植樹祭

29日 北アルプス広域連合議会

〔6月〕

2日 「みどりの愛護」の集い

6日 議会運営委員会

議会全員協議会

12日 議会報編集委員会

開会

22日 同閉会

ほか

・ 食育活動連絡会議

・ 高瀬川右岸水利運営委員会

・ 観光協会定期総会

・ 松川村水田農業推進協議会

・ 子どもを守る安全対策関係機  
関連絡会議

・ 池田松川学校給食センター運  
営委員会

・ 村消防団ポンプ操法大会

・ 村消防団ポンプ操法大会

## 子どもを守る安全対策関係機関連絡会議

平成19年6月7日

第1回連絡会が開催され、関係する機関が前年度の  
取り組み状況を発表し、意見交換をしました。

この連絡会には、議会、小・中学校、同PTA、育成  
会、社協、少年友の会、商工会、体育協会、防犯協  
会、教育委員会などが参加しています。

議会では「安全パトロール中」のステッカーを各自  
の車につけて、通学路または通学路付近を通ることを  
話しました。

小・中学校からは子ども  
の下校時刻が示され、村内  
に91戸ある「安心の家」の  
確認・熊対策・通学路の危

村内を走る  
安全パトロール車



険箇所での改修要望、社協では青色回転灯でのパトロー  
ルなど、それぞれの取り組みがされています。また、  
安筑生コン、G・フレンドリー、孝松館の3業者も営  
業時にステッカーを車に貼って協力しています。

この連絡会議に所属する全員に、マニュアルカード  
が配布されました。カードにはパトロール中の緊急を  
必要とする場合の連絡先などが明記されており、常に



元気いっぱい登校中

携帯するようにしてい  
ます。

不審者・熊や猿など  
の野生動物・交通事故  
から子どもを守り、安  
全で安心して登下校で  
きるの、村のみなさん  
の協力を実現するも  
のです。

# 一般質問 7人の議員が登場

平成19年6月19・20日



平林(源)議員

## ゴミ問題について

**問** 松川村のゴミの増加をどう考えるか。

**答** 人口増と有料化へのマンネリが原因。負担金が1億円を越すので村民にゴミ資源化を徹底する。

**問** 穂高クリーンセンターが平成24年改築予定。実験プラントの現状は。

**答** バイオマスは穂高・豊科の一部地域をモデルに収集。試運転し9月以降本格稼働に備える。

**問** 穂高広域施設の最終処分場は。

**答** 中野市の民間処理場で処分しているが、今後は管内での最終処分について審議をしていく。

始まっている。

## 里山の環境保全

**問** 松食い虫の現状は。

**答** 村内はゼロ。森林監視員が週一回巡視し、他町村とも情報交換する。

**問** 熊・猿・外来植物への対応は。

**答** 植樹祭で動物のえさになる栗などを植えている。外来植物は駆除している。



渡邊議員

## 村民の平和なくらし

**問** 憲法改正手続き法が国会で成立したがマスコミが問題を指摘している。村長の認識はどうか。

**答** 深く解釈ができないので、今のところ、なんとも言えない。

**問** 憲法改正は世論調査と不一致。憲法は戦争への歯止めではないか。



「協働の村づくり」の手法は…

**答** 戦争は絶対にいけない。今後も任期中は、広島市の平和記念式典へ職員を派遣し平和を誓う。

**問** 松川村国民保護計画の村民周知と、自治会・自主防災会への対応は。

**答** 保護計画はホームページで公表している。今後は避難実施要領などを策定予定。その後説明会開催を検討する。自治会・自主防災会へは強制でなく、協力依頼をする。

## 今後の社会教育は

**問** 林遊館などの施設を活用し、文化活動推進の

対策はあるか。

**答** 検討し、PRする。

**問** 多目的文化施設の着工・完成の予定は。

**答** 8月入札し、着工は9月議会後の予定。

**問** 施設の運用・活用は。利用団体の連携と協力を推進するため、新たに委員会を設置したい。

**答** 施設の利用は、利用団体の連携と協力を推進するため、新たに委員会を設置したい。



新村議員

## 村内の騒音問題

**問** 村生活環境等推進審議会の答申後の対応は。

**答** 騒音ゼロとすることは不可能だが、企業努力によって低減できる。これを踏まえ、村・区・会社の3者でこの4月に懇談会を開催し、問題解決への模索をした。

**問** 答申では早期改善の行政指導とあるが、村の考え方はどうか。

**答** 村には関係法令による規制はない。話し合いで解決に向けて進めていく。村観光基本計画の取組み

る規制はない。話し合いで解決に向けて進めていく。村観光基本計画の取組み

**問** 観光事業の進め方は。

**答** 第5次総合計画に基づいて進めている。観光客は毎年56万人前後で推移し、一定の成果は出ている。

**問** 米政策改革大綱について

**問** 品目横断的経営安定対策の取組みは。

**答** 集落営農組合への加入を進めていきたい。

**問** 農地・水・環境保全向上対策の立上げ状況は。

**答** 9地区で組織ができた。技術的な支援・指導は営農支援センターが行っていく。



白澤議員

## 馬羅尾の自然で健康村を

**問** 馬羅尾は村の誇れる財産であり先人に感謝する。現状までの主な経緯を聞きたい。

**問** 昭和59年から生活環境保全事業など取組み、植樹祭や遊歩道・林業研修施設などを整備した。

**問** 安全管理と各施設の利用状況はどうか。

**答** 災害対策は、県と連携をとり堰堤工事を実施。また、マレットゴルフのんびり歩きなどの公民館事業や、炭焼体験などをし、有効活用している。

**問** クロスカントリーのスタート地点を整備し、熊対策を進めてほしい。

**答** 検討する。

**問** 看板で草木の採取禁止を呼びかけないか。

**答** 表示すると逆に取られるケースもあり関係者と協議する。

## 村文化財の点検を

**問** 村内の史跡表示が古い。整備点検されたい。

**答** 村内の指定文化財は18件。今年度中に進める。

**問** 4カ所の山城跡をネットワーク化し、国営公園開園に間に合うよう整備しないか。

**答** 文化財審議会で協議した。所有者・地権者を探して進めたい。



佐藤議員

「村民要望」を

問 村内の住所表示が複雑。整備改善をしないか。  
答 今後、機会があれば検討していきたい。

問 駅前信号機が高齢者にわかりづらい。メロディ信号号などに変更しないか。  
答 安全面を考え歩車分離式になった。要望があれば警察と協議する。

問 松川駅線路東側に大型の観光案内板を設置し村の宣伝をしないか。  
答 検討する。

民法772条の規定は  
問 法務省の通達による300日規定の内容は。  
答 医師の証明で実父子または母の嫡出子として戸籍ができるもの。

問 戸籍や住民票のない子どもはどうなるか。  
答 児童手当や予防接種健康保険など日本の法律による権利などは受けられないが救済措置がある。

高校改革の今後は

問 高校改革プランの白紙撤回をどう思うか。また今後の方針は。  
答 結論的には良い選択だった。今後は各方面の意見を十分聞き、良いプランをお願いしたい。



榛葉議員

産業の活性化について

問 現段階での財政見通しはどうか。  
答 交付税などの収入が見えてきたので、これから10年間は大丈夫。

問 自主財源の確保は。  
答 工場誘致だけでなく農業・商業への補助事業も行い、産業全体の活性化を目指していく。

問 農業振興の核となる営農支援センターの充実が大事。今年度末で県の専門職派遣終了が見込まれるが、その後の専門職配置の考えは。  
答 支障のないようにする。

問 農産や特産品の販売には各分野の連携が必要ではないか。  
答 農業、商業、観光などの連携を図れるように努力したい。

問 遺跡公園の進捗状況は。  
答 担当課で調査研究をしている段階。

地域と行政との協働

問 県の元気づくり支援金を村の活性化につなげないか。  
答 他市町村に比べ申請が少ないので、職員意識改革と各種団体へのPRを図る。

問 村での支援金の状況。  
答 今年は1件の採択。

問 村出身者への情報発信と連携は。  
答 検討し、PRしたい。



矢口議員

土地利用について

問 住宅密集地周辺の荒廃農地の解消などを図るため、土地利用計画の見直しはどうか。  
答 18年度に区の意見を聞き見直しを行っている。

福祉について  
問 特養施設への入所希望の状況と支援はどうか。  
答 村内に特養入所待機者は約270名いる。在宅については主治医の指示により介護サービスを提供していく。

問 福祉の村づくりは。  
答 地域の横のつながりを大切に「ふれあい会」を全村に広げていきたい。

協働の村づくり

問 「協働の村づくり」の手法は。  
答 全区で開催した実行プラン説明会時に協働の取り組みなどの説明を行った。さらに努力していく。

問 行政区担当職員の配置をしないか。  
答 要望があれば考える。

問 村職員について、親切な村民対応と費用対効果意識を持ち業務にあたることを要望する。  
答 指導、徹底する。

北アルプス広域連合

平成19年5月29日 定例会

大町市・池田町議会の議員選挙と白馬村の申し合せ任期満了に伴う改選により、新議員の議席を決定しました。また、議長に大町市の中牧盛登議員、副議長には松川村の甲斐澤明議員が就任しました。

議案は、平成18年度事業終了による計数整理など補正予算の専決報告案件5件と4議案で、いずれも原案通り可決。人事案件では、副広域連合長に小林三郎小谷村長を、監査委員には大町市の飯嶋楯雄議員を全会一致で選任しました。

陳情1件があり、大町市・白馬村・小谷村の12名の議員で構成する「ごみ処理特別委員会」で審議の結果、継続審査となりました。

一般質問には、2名の議員が登壇しました。

池田松川施設組合

平成19年5月14日 臨時会

議題は、議長の選出です。選挙の結果、賛成全員で池田町の立野泰議員に決定しました。

池田松川学校給食センター運営委員会

平成19年6月14日 臨時会

矢口教育長が「アレルギー対応食の提供を、5月8日から開始した。おいしく安全が給食のモットー。給食費の滞納は無い。」とあいさつし、臨時会では、役員選出を行いました。

また、栄養士からは「地産地消につとめ、手づくりを心がけていく」と話がありました。